

学習単元に合わせた図書展示と読み聞かせ

実施日 令和6年6月

対象 小学校3年

所要時間 30分(準備時間含まず)

教科・教材名 国語・ワニのおじいさんのたから物

単元名 物語をみじかくまとめてしょうかいしよう

目的・ねらい

- 児童が単元学習に合わせた展示を紹介されることにより、興味関心をさらにもつことができる。
- 児童が教材文の前後の話の読み聞かせを聞き、登場人物の気持ちの変化や性格・情景について想像することができる。
- 児童が教材文の前後の話の読み聞かせを聞き、物語の感想を深め、伝え合う。

学校図書館活用のポイント

- 学校図書館で学校司書が『ぼうしをかぶったオニの子』を読み、教材文の前後のお話を共有する。

必要なもの

- 『ぼうしをかぶったオニの子』あかね書房, 1979年, ISBN 9784251032560

当日までに行うこと

- 読み聞かせの練習
- POPの作成

実践内容	物品	留意点
<p>〈提案〉</p> <p>4月 学校司書が各学年だよりの各担当教員に前月末までに1部渡してもらえるよう依頼する。</p> <p>5月 学校司書が学年だよりから学習予定を把握し、原作がある教材について館内展示し、読み聞かせができる旨を各担任に伝える。</p>	レターケース	<p>教員が学校司書に学年だよりを渡しやすいように職員室にレターケースを置いてもらう</p> <p>渡し忘れがないようチェック欄を設け、学年だよりを入れたら、チェックしてもらう</p>

<p>〈相談〉</p> <p>5月</p> <p>3年生の各担任から『ぼうしをかぶったオニの子』の読み聞かせについて依頼される。</p>		
<p>〈準備〉</p> <p>5月</p> <p>学校司書が教科書掲載本や『ぼうしをかぶったオニの子』の作中ででてくる『ももたろう』などの本を探し、手に取りやすいように館内に展示する。</p> <p>児童が興味を持てるよう、学校司書がPOPを作成し本とともに展示した。</p> 	<p>POP</p>	
<p>〈実践〉</p> <p>6月</p> <p>学校司書が図書の時間に学習単元の館内展示本について児童に紹介する。(5分)</p> <p>学校司書が図書の時間に『ぼうしをかぶったオニの子』を紹介し、2回に分けて一冊全部を読み聞かせする。(25分)</p>		
<p>〈結果／児童生徒・教職員の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 児童から「展示を見て、教科書に出てくるお話がある」という驚きの声があがった。 ● 児童が『ぼうしをかぶったオニの子』の絵が教科書の絵と違うことを発見した。 ● 児童に「ワニのおじいさんのたから物」以外のお話にも興味をもってもらうことができた。 ● 児童から「オニの子が寂しさを抱えていたことをはじめて知った」という意見がでた。 ● 教員と児童から「前後のお話を知って教材を読み直すと印象が違ってくる」という意見がでた。 ● 教員から「展示してくれているので、わかりやすく、手に取りやすいので 	<p>作中ででてくる『白雪姫』『みにくいあひるの子』の絵本(別紙図書リスト参照)</p>	

助かる」と言われた。

- 教員が『白雪姫』『みにくいあひるの子』を読んだことがない児童がいたことに驚き、この2作を学校司書が読み聞かせすることにつながった。